

| 令和6年第4回嬉野市議会定例会会議録          |           |                    |    |          |           |    |
|-----------------------------|-----------|--------------------|----|----------|-----------|----|
| 招 集 年 月 日                   | 令和6年12月3日 |                    |    |          |           |    |
| 招 集 場 所                     | 嬉野市議会議場   |                    |    |          |           |    |
| 開 閉 会 日 時<br>及 び 宣 告        | 開会        | 令和6年12月3日 午前10時00分 |    |          | 議 長 辻 浩 一 |    |
|                             | 散会        | 令和6年12月3日 午前10時40分 |    |          | 議 長 辻 浩 一 |    |
| 応（不応）招<br>議員及び出席<br>並びに欠席議員 | 議席<br>番号  | 氏 名                | 出欠 | 議席<br>番号 | 氏 名       | 出欠 |
|                             | 1 番       | 水 山 洋 輔            | 出  | 9 番      | 宮 崎 良 平   | 出  |
|                             | 2 番       | 大 串 友 則            | 出  | 10番      | 川 内 聖 二   | 出  |
|                             | 3 番       | 古 川 英 子            | 出  | 11番      | 増 田 朝 子   | 出  |
|                             | 4 番       | 阿 部 愛 子            | 出  | 12番      | 森 田 明 彦   | 出  |
|                             | 5 番       | 山 口 卓 也            | 出  | 13番      | 芦 塚 典 子   | 出  |
|                             | 6 番       | 諸 上 栄 大            | 出  | 14番      | 田 中 政 司   | 出  |
|                             | 7 番       | 諸 井 義 人            | 出  | 15番      | 梶 原 睦 也   | 出  |
|                             | 8 番       | 山 口 虎太郎            | 出  | 16番      | 辻 浩 一     | 出  |

|                                                       |                         |         |                   |  |
|-------------------------------------------------------|-------------------------|---------|-------------------|--|
| 地 方 自 治 法<br>第121条の規定<br>により説明の<br>ため議会に出席<br>した者の職氏名 | 市 長                     | 村 上 大 祐 | 健康づくり課長           |  |
|                                                       | 副 市 長                   | 早 瀬 宏 範 | 統 括 保 健 師         |  |
|                                                       | 教 育 長                   | 杉 崎 士 郎 | 子育て未来課長           |  |
|                                                       | 行政経営部長                  | 永 江 松 吾 | 福 祉 課 長           |  |
|                                                       | 総合戦略推進部長                | 小野原 博   | 農業政策課長            |  |
|                                                       | 市民福祉部長                  | 小 池 和 彦 | 茶業振興課長            |  |
|                                                       | 産業振興部長                  | 井 上 章   | 観光商工課長            |  |
|                                                       | 建 設 部 長                 | 馬 場 敏 和 | 農林整備課長            |  |
|                                                       | 教 育 部 長                 | 山 本 伸 也 | 建 設 課 長           |  |
|                                                       | 観光戦略統括監                 | 中 野 幸 史 | 新幹線・まちづくり課長       |  |
|                                                       | 総務・防災課長兼<br>選挙管理委員会事務局長 | 太 田 長 寿 | 環境下水道課長           |  |
|                                                       | 財 政 課 長                 | 中 村 忠太郎 | 教育総務課長            |  |
|                                                       | 税 務 課 長                 |         | 学校教育課長            |  |
|                                                       | 企画政策課長                  |         | 会計管理者兼<br>会 計 課 長 |  |
|                                                       | 広報・広聴課長                 |         | 監査委員事務局長          |  |
|                                                       | 文化・スポーツ振興課長             |         | 農業委員会事務局長         |  |
|                                                       | SAGA2024<br>推 進 課 長     |         | 代表監査委員            |  |
|                                                       | 市 民 課 長                 |         |                   |  |
| 本 会 議 に 職 務<br>のため出席した<br>者 の 職 氏 名                   | 議会事務局長                  | 筒 井 八重美 |                   |  |

## 令和 6 年第 4 回嬉野市議会定例会議事日程

令和 6 年 12 月 3 日（火）

本会議第 1 日目

午前 10 時 開 議

- |        |                                                                                         |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 日程第 1  | 会議録署名議員の指名                                                                              |
| 日程第 2  | 会期の決定                                                                                   |
| 日程第 3  | 諸般の報告                                                                                   |
|        | 報告第 14 号 議決事件に該当しない契約の報告について                                                            |
| 日程第 4  | 議案第 66 号 嬉野市下水道使用料の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について                                               |
| 日程第 5  | 議案第 67 号 嬉野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について |
| 日程第 6  | 議案第 68 号 嬉野市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例について                                        |
| 日程第 7  | 議案第 69 号 嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について                                      |
| 日程第 8  | 議案第 70 号 嬉野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について                                               |
| 日程第 9  | 議案第 71 号 嬉野市職員の給与に関する条例及び嬉野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について                     |
| 日程第 10 | 議案第 72 号 嬉野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について                                       |
| 日程第 11 | 議案第 73 号 嬉野市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について                                            |
| 日程第 12 | 議案第 74 号 嬉野市出張所設置条例を廃止する条例について                                                          |
| 日程第 13 | 議案第 75 号 指定管理者の指定について                                                                   |
| 日程第 14 | 議案第 76 号 指定管理者の指定について                                                                   |
| 日程第 15 | 議案第 77 号 指定管理者の指定について                                                                   |
| 日程第 16 | 議案第 78 号 佐賀県市町総合事務組合規約の変更について                                                           |
| 日程第 17 | 議案第 79 号 令和 6 年度嬉野市一般会計補正予算（第 5 号）                                                      |
| 日程第 18 | 議案第 80 号 令和 6 年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）                                                |
| 日程第 19 | 議案第 81 号 令和 6 年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）                                               |
| 日程第 20 | 議案第 82 号 令和 6 年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地地区画整理                                               |

事業費特別会計補正予算（第1号）

日程第21 議案第83号 令和6年度嬉野市下水道事業会計補正予算（第3号）

日程第22 委員長報告

文教福祉常任委員会 市民福祉部及び教育委員会の所管に関する事項について

議会運営委員会 各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

---

午前10時 開会

○議長（辻 浩一君）

皆さんおはようございます。本日は、令和6年第4回嬉野市議会定例会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は全員出席であります。定足数に達しておりますので、ただいまから令和6年第4回嬉野市議会定例会を開会いたします。

本定例会の議会運営につきましては、11月29日に議会運営委員会が開催されました。その結果について報告を求めます。梶原睦也議会運営委員会委員長。

○議会運営委員会委員長（梶原睦也君）

皆さんおはようございます。先日、11月29日に議会運営委員会を開催いたしまして、今定例会の議会運営について協議を行いました。

ただいまより会期日程案について御報告をいたします。

お手元に配付の令和6年第4回嬉野市議会定例会会期日程案を御覧ください。

会期は、本日12月3日から18日までの16日間であります。

12月3日、開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、提案理由の説明、委員長報告、本会議終了後に議案の詳細説明、合同常任委員会を開催いたします。

12月4日、5日、常任委員会。

12月10日、11日、議案質疑。

12月12日、13日、16日、一般質問。今定例会においては15名の議員から通告があつておりますので、12日に5名、13日に5名、16日に5名の配分で、開議時刻を9時半として行いたいと思っております。

12月18日、討論・採決、閉会。

以上、今定例会の会期日程案について御報告をいたします。

○議長（辻 浩一君）

議会運営につきましては、ただいま議会運営委員会委員長から報告のあったとおりであります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで議会運営委員会についての報告を終わります。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましてはお手元に配付のとおりであります。

日程第１．本定例会の会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第85条の規定により、会議録署名議員に議席番号１番、水山洋輔議員、議席番号２番、大串友則議員、議席番号３番、古川英子議員を指名いたします。

日程第２．嬉野市議会会議規則第４条の規定により会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から12月18日までの16日間にしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。本定例会の会期は、本日から12月18日までの16日間に決定をいたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりであります。御了承ください。

日程第３．諸般の報告を行います。

本日までに提出されました令和６年請願第１号につきましては、お手元に配付しております請願文書表のとおりであります。

嬉野市議会会議規則第136条第１項の規定により、請願第１号は産業建設常任委員会に付託をいたします。

次に、令和６年陳情第８号から第14号の７件につきましては、お手元に配付しております陳情文書表のとおりであります。

次に、報告第14号 議決事件に該当しない契約の報告についてにつきましては、お手元に配付しておりますので、それをもって報告といたします。

これで諸般の報告を終わります。

日程第４．議案第66号 嬉野市下水道使用料の改定に伴う関係条例の整備に関する条例についてから、日程第21．議案第83号 令和６年度嬉野市下水道事業会計補正予算（第３号）までの18件の議案を一括して議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（村上大祐君）

皆様おはようございます。令和６年第４回嬉野市議会定例会の開会に当たりまして、日頃の議員各位の御活躍に敬意と感謝を申し上げます。

師走に入り、はや一年を振り返る時期となりました。元日早々の能登半島地震に象徴されるように、我が国は災害大国である現実を踏まえて、平時より災害に備えるべきであるとの思いを強くいたしました。

先月、11月21日、22日に本市で開催をいたしました「第16回全国水源の里シンポジウム」では、令和3年に甚大な被害をもたらした豪雨災害からの復興を振り返りながら、茶業などの中山間農業を守り、豊かな里山を保全することが、流域全体の人々の暮らしや生命を守ることを確認いたしました。ギリシャのヘロドトスが「エジプトはナイルの賜物」と述べたように、「嬉野は塩田川の賜物」であります。ときに災厄をもたらす一方で、肥沃な大地、陶磁器産業の隆盛など、数多くの恵みをもたらしてくれた歴史と、自然と闘いながらも道を切り開いてきた先人への感謝も全国から訪れた参加者の皆様と共有できたのではないかと思います。

また、10月に開催をされましたSAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会は、嬉野市においても7つの競技が開催をされ、盛況のうちに幕を閉じました。とりわけレスリング、なぎなたは県勢の活躍もあって会場では大歓声がこだましておりました。市としてもSAGA2024推進課を中心に準備を進めてまいりましたが、本市職員はもとより、延べ400人の市民ボランティアの皆様の御協力もあって、無事、事故も滞りもなく大会運営を終えることができました。この場を借りて心よりの感謝を申し上げます。

国民スポーツ大会については、開催意義も含めた今後のあり方の議論も全国で巻き起こっております。開催市としては、大変有意義な大会であったと考えておりますが、一方で今後持続可能な大会運営を考えたときには課題もございました。今後スポーツ庁など国の機関や各競技団体などが主体となって検証・議論が進むことを願っております。

また、庁舎建設につきましては、今定例会に先立ち11月29日に入札を執行し、複数の応札があり、落札をされました。今会期中にも追加議案として契約の承認をいただきたく存じますので、御審議のほどよろしく願いを申し上げます。

なお、関連予算としてパイロットオフィスの導入もお願いをしております。従前より申し上げてきたとおり、庁舎建設は単なる箱を新しくするというものではなく、デジタル時代を象徴する業務改革を劇的に進めていくきっかけとしたいと考えております。市民に向けては、オンライン手続や窓口のワンストップ化で「行かない、書かない、回さない」市役所の実現を目指し、職員においては自動化省力化を通じて生産性の向上と付加価値の高い業務への注力を目指すものであります。庁舎そのものの設計思想を明確にして生きた投資となるべく努力を重ねてまいる所存でございます。

それでは、これより今議会に提出をいたしました議案等につきまして、その概要を説明いたします。

今定例会に提出いたします案件は、報告1件、条例の制定1件、条例の一部改正7件、条

例の廃止 1 件、指定管理者の指定 3 件、一部事務組合規約の変更 1 件、補正予算 5 件の全部で19件について御審議をお願いするものでございます。

まず、条例制定について御説明をいたします。

議案第66号 嬉野市下水道使用料の改定に伴う関係条例の整備に関する条例については、嬉野市下水道条例、嬉野市農業集落排水処理施設条例、嬉野市営浄化槽条例の3条例における下水道使用料を、それぞれ改定するために条例を制定するものでございます。

続いて、条例の一部改正 7 件について御説明をいたします。

まず、議案第67号 嬉野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例については、児童手当法が改正され、児童手当が拡充することに伴い、条例の一部を改正する必要があるものです。

次に、議案第68号 嬉野市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例については、一般廃棄物処理手数料のうち、し尿汲み取り手数料を改定するため、条例の一部を改正するものです。

次に、議案第69号 嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について、また議案第70号 嬉野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例については、佐賀県特別職の給与等改定に鑑み、期末手当の支給割合を改定するため、条例の一部を改正するものでございます。

次に、議案第71号 嬉野市職員の給与に関する条例及び嬉野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について、及び議案第72号 嬉野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例については、職員給与等につき、佐賀県人事委員会の勧告に基づき、嬉野市職員について給与等の改定を行うため、条例の一部を改正するものです。

次に、議案第73号 嬉野市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例については、児童扶養手当法施行令及び特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、所得限度額が引き上げられるため、所要の改正を行うものでございます。

次に、条例の廃止 1 件でございます。議案第74号 嬉野市出張所設置条例を廃止する条例については、現在出張所として 1 か所存続をしております吉田出張所を廃止するものです。

次の 3 件は、公の施設における指定管理者の指定に係るもので、それぞれ地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるものです。

まず、議案第75号は、嬉野市コミュニティーセンター（楠風館）を、五町田地区地域コミュニティ運営協議会に委託するものです。

次に、議案第76号は、嬉野市うれしの茶交流館「チャオシル」を、株式会社ヒューテック

に委託するものです。

次に、議案第77号は、嬉野市営キャンプ場（広川原キャンプ場）を、嬉野温泉アウトドア共同事業体に委託するものです。

いずれの施設も、指定の期間は、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間となります。

続きまして、一部事務組合理約の変更でございますが、議案第78号 佐賀県市町総合事務組合理約の変更については、多久小城医療組合の名称を、多久小城医療企業団に変更し、多久小城医療企業団を、退職手当の支給に関する事務等の共同処理に加入させるため、佐賀県市町総合事務組合理約を変更するものでございます。

続きまして、議案第79号から議案第83号は、令和6年度嬉野市一般会計、特別会計及び公営企業会計の補正予算に関するものでございます。

まず、議案第79号 令和6年度嬉野市一般会計補正予算（第5号）について御説明をいたします。

歳入歳出にそれぞれ7億1,740万7,000円を追加し、補正後の予算総額を225億8,156万7,000円とするものでございます。

主な歳入補正につきましては、9月議会において令和5年度決算が認定されたことに伴う前年度繰越金、前年度事業実績に伴う補助金などの精算金、そのほか歳出事業の補正に伴う国県支出金などを計上しております。なお、財源調整としての財政調整基金からの繰入金は、1億80万6,000円の減額となっております。

歳出補正につきましては、人事院勧告、人事委員会勧告などによる人件費、前年度国県事業等の精算に係る償還金、地方財政法の規定に基づき、前年度決算剰余金の2分の1を下回らない額を財政調整基金に積み立てるための積立金を計上しております。

また、主な事業といたしましては、新庁舎整備関連事業として「パイロットオフィス」整備に伴う什器購入費用に712万5,000円、園芸ハウス団地入植者が、国庫事業の「産地生産基盤パワーアップ事業」で整備するハウスの整備費用への一部助成として1,500万円、大雨の際にたびたび浸水し、通行止めになっている指定農道五町田・中村線において、車両の安全を確保するために、水位モニタリングシステム及び電光表示板を設置する費用に780万円、物価高騰及び工事工法の変更が必要になったことに伴う嬉野小学校のバリアフリー化改修事業に3,370万円、そのほか実績見込みの増加に伴う医療費助成や、現年災害復旧工事費用の補正などを計上しております。

また、今回の補正で、令和7年度まで継続費を設定して事業を行っております嬉野小学校のバリアフリー化改修事業の継続費総額の補正、現年災害復旧事業の明許繰越補正、令和7年度以降の支出に係る債務負担行為、及び事業費の補正に伴う地方債の補正も併せて計上しております。



次に、議案第80号 令和6年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について説明をいたします。

歳入歳出にそれぞれ1億8,841万3,000円を追加し、補正後の予算総額を38億3,928万7,000円とするものでございます。

補正の主な内容といたしましては、歳入予算に前年度繰越金を計上し、歳出予算においては、人事委員会勧告などによる人件費、前年度決算剰余金の国民健康保険基金への積立金、県支出金償還金などを計上しております。

次に、議案第81号 令和6年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について説明をいたします。

歳入歳出にそれぞれ160万9,000円を追加し、補正後の予算総額を4億6,628万8,000円とするものでございます。

歳入予算に前年度繰越金を計上し、歳出予算においては、令和5年度の出納整理期間中に収納した保険料についての負担金を計上しております。

次に、議案第82号 令和6年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）について説明をいたします。

歳入歳出にそれぞれ12万3,000円を追加し、補正後の予算総額を9,247万3,000円とするものでございます。

歳入予算に前年度繰越金を計上し、歳出予算においては人事委員会勧告などによる人件費の補正を計上しております。

次に、議案第83号 令和6年度嬉野市下水道事業会計補正予算（第3号）について御説明いたします。

補正予算の内容といたしましては、市営浄化槽設置工事及び人事委員会勧告などによる人件費について増額をするものでございます。

まず、収益的収入につきましては、196万4,000円増額し、補正後の総額を8億1,941万円とし、収益的支出は6万4,000円減額し、補正後の総額を8億1,088万2,000円とするものでございます。

次に、資本的収入につきましては、1,524万7,000円を増額し、補正後の総額を4億2,915万4,000円とし、資本的支出は1,500万4,000円増額し、補正後の総額を5億7,777万5,000円とするものでございます。

以上で、本議会に提案いたしました議案について概要説明を終わりますが、各議案の詳細な内容につきましては、担当部長及び担当課長から説明させますので、何とぞ慎重な御審議をお願い申し上げたいと思います。

なお、先ほども冒頭申し上げましたとおり、今会期中に追加議案の提案を予定しておりますので、あらかじめ御了承ください。

最後になりますが、今議会では15名の議員の皆様より、一般質問をお受けしております。真摯にお答えいたしたいと存じますので、よろしくお願いを申し上げまして、本議会における提案理由の説明とさせていただきますと思います。

**○議長（辻 浩一君）**

これで提案理由の説明を終わります。

お諮りいたします。議案第66号から第83号までの18件につきましては、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第66号から議案第83号までの18件につきましては、委員会付託を省略することを省略することに決定をいたしました。

日程第22. 委員長報告を議題といたします。

閉会中、文教福祉常任委員会に付託しておりました調査事件について、委員長に報告を求めます。

文教福祉常任委員会の付託事件、市民福祉部及び教育委員会の所管に関する事項についての報告を求めます。諸上栄大文教福祉常任委員会委員長。

**○文教福祉常任委員会委員長（諸上栄大君）**

それでは、文教福祉常任委員会報告をさせていただきます。

令和6年12月3日、嬉野市議会議長、辻浩一様。

文教福祉常任委員会委員長、諸上栄大。

文教福祉常任委員会報告書。

令和6年第3回嬉野市議会定例会において付託された下記の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告いたします。

付託事件名、市民福祉部及び教育委員会の所管に関する事項について。

調査の理由といたしましては、嬉野市ではゼロ歳から18歳までの子育て期において様々な事業展開を行われており、切れ目のない支援を行われております。しかしながら、その時期のライフステージにおいては、認定こども園や保育所、幼稚園、また、小学校と養育や教育などの活動の場も大きく変わってくる状況であり、それらの移行期には様々な課題があると考え調査を行いました。

調査の概要、幼保小連携の現状及び諸問題について。

まず、調査日です。

1点目が、市長部局に対して、令和6年11月7日13時から15時まで。

場所は嬉野市役所3階議員控室。

対応者、嬉野市市民福祉部、小池部長、子育て未来課、牧瀬課長及び古川主任でございます。

2 回目が、調査日が令和 6 年11月12日火曜日、10時から11時30分まで。

場所は嬉野市役所 3 階議員控室。

対応者といたしましては、教育委員会、杉崎教育長、教育総務課、森永課長、学校教育課、河村副課長でございます。

現状と課題に関しては、御参照いただけたらと存じます。

それでは、委員会の意見といたしまして、嬉野市は早くから早期支援コーディネーターを配置し、年中児から配慮が必要な可能性のある児童の保護者等に対しては、指導や助言、支援を行う事業を展開されております。しかしながら、子育て期における相談内容は多岐にわたり、特に乳幼児期からの育ちが生涯の学びにつながる重要なときであり、よい学びの場を提供するためにも、必要によっては年中児以前からのアプローチが必要と考えます。

そこで、幼保小連携に対しての取組をさらに強化していくためには、機構改革を含め、同じ環境で早期支援コーディネーターはもとより、子育て未来課の保育所、幼稚園の担当者や放課後児童クラブの担当者などが連携・協働できる環境の場の整備を行い、早期からの就学に向けた支援体制の整備が急務と考えております。

最後に、当委員会においては、嬉野市が取り組んでいる幼保小連携についての提言書を提出することと考えております。

以上をもちまして、委員会報告とさせていただきます。

#### ○議長（辻 浩一君）

ただいまの報告に対して質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで委員長報告の質疑を終わります。

お諮りいたします。本件についてはただいまの報告のとおり了承したいと思います。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、市民福祉部及び教育委員会の所管に関する事項については報告のとおり了承することに決定をいたしました。

次に、議会運営委員会に付託しておりました調査事件について、委員長に報告を求めます。

議会運営委員会の付託事件、各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項についての報告を求めます。梶原睦也議会運営委員会委員長。

#### ○議会運営委員会委員長（梶原睦也君）

それでは、議会運営委員会からの報告を行います。

令和 6 年12月 3 日、嬉野市議会議長辻浩一様。

議会運営委員会委員長、梶原睦也。

議会運営委員会報告書。

令和6年第3回嬉野市議会定例会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告をいたします。

付託事件名、各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項。

調査内容Ⅰ、予算審査特別委員会について。

調査理由。嬉野市議会の議案審議は決算を除き委員会付託を省略し、本会議において審議をしている。一方、鹿島市議会では、当初予算の審議は「新年度予算審査特別委員会」に付託し審議が行われている。市民から負託を受けた議会として、より審議が深まる委員会のあり方を学ぶために視察を行った。

調査日、令和6年7月3日。

調査場所、佐賀県鹿島市役所。

対応者、鹿島市議会議長、徳村博紀氏、副議長、中村和典氏、議会事務局長、山口徹也氏、議会事務局長補佐、中島圭太氏、事務局主任、古賀理氏。

調査内容Ⅱ、通年議会について。

調査理由。2021年の自治法改正によって「通年の会期」を定めることが可能となったことを受け、通年議会を取り入れる自治体も増えてきた。通年議会導入によるメリット、デメリットを探るため通年議会を取り入れている大阪府四條畷市議会と大阪府大東市議会を視察した。

調査概要1、調査日、令和6年10月24日。

調査場所、大阪府四條畷市役所。

対応者、四條畷市議会議長、森本勉氏、副議長、吉田涼子氏、議会事務局主任、中尾恵子氏。

調査概要2、調査日、令和6年10月25日。

調査場所、大阪府大東市役所。

対応者、大東市議会議長、酒井一樹氏、大東市理事、品川智寛氏、議会事務局長、竹中慎太郎氏、議会事務局参事補佐、川邊幸秀氏。

それぞれ調査結果については、後ほど報告書を御覧ください。

それでは、委員会の意見を述べさせていただきます。

鹿島市議会の新年度予算審査特別委員会のメリットについては「議案一体の原則」が確保されており、全議員が予算の全体感に立って議論できることである。

新年度の予算審議は全員協議会室で審議され、本会議場で委員長報告、そして採決への流れである。本市と違い予算審議が本会議場ではなく全員協議会室で行われ、審議方法も時間制限はあるが回数制限はないため、深い議論ができることは大きなメリットである。

一方、本市においては本会議場で審議が行われるため、慎重な質問並びに答弁が求められる。

る。それにより現状に即した議論ができると考えられる。また、通告性を敷いているため、執行部はより具体的な答弁が可能となる。

ただ、本市では本会議場において議員の所管についての質問が出来ないため「議案一体の原則」から見れば今後の課題でもあるが、両市の予算審議の充実度に大きな差異は感じられなかった。いずれにしても市民の負託に応えるためにはどのような議会運営のあり方がベストなのかを今後とも探っていく努力が必要である。

次に、大阪府四條畷市議会及び大東市議会の視察調査から、通年議会とはどのような制度なのかを研鑽することができた。通年議会のメリットとしては議会側からの呼びかけで、臨時的な議会開催が可能となり行政対応の迅速化が図られることである。例えば、災害や緊急の補正予算が生じた場合、これまで専決処分されていたものが議会に諮ることで、より慎重な予算執行が可能となる。

また、会期を限定せず1年を通し委員会活動を行えるため、付託なしで継続的な政策の調査ができるようになり、議会の機能が強化され課題への対応力が向上すると考えられる。

一方、デメリットとしては従来のような明確な会期の区切りがなくなり、市民が議会活動や開会日を把握しづらくなる可能性があるため、広報活動や情報公開の充実が不可欠である。また、議会对応を優先するあまり、自然災害等の緊急時に行政が迅速な対応ができない事態も考えられ、市民の利益を損なう恐れもある。

このように、通年議会導入に多くの利点がある一方、運用に関しての課題も少なくない。各自治体に合わせた制度設計を行うことが重要である。

本市においては平成21年に議会基本条例を定め、全国に先駆けて議会改革を推進してきた。例えば、条例に定めた議会報告会、政策討論並びに政策提案、さらには、議員自ら作成する議会だよりなど他自治体をリードする議会活動を実行してきた。今後は、さらにICTを活用した議会活動も喫緊の課題であり、議会運営委員会としては、いま一度原点に立ち返り、今こそ議会基本条例で定めた議会改革を地道に進めていくことが、市民にとっての最大の利益になると考える。

以上でございます。

**○議長（辻 浩一君）**

ただいまの報告に対して質疑はありませんか。増田朝子議員。

**○11番（増田朝子君）**

まずは調査内容としまして、予算審査特別委員会について鹿島市を視察されておりますけれども、こちらの委員会報告で、市民の負託に応えるためにはどのような議会運営のあり方がベストなのかを今後とも探っていく努力が必要であるという報告がありますけれども、視察をされて、ほかの議運の委員の方々の意見が出たかと思っておりますけれども、こういった意見が出ましたでしょうか。

それと、今後努力が必要であるとありますけれども、どのような方向性で議運としては取り組まれるんでしょうかということが1点。

あと、通年議会で大東市、四條畷市を視察されておりますけれども、この通年議会の、各市議会の導入の経緯をお伺いしたいと思います。

**○議会運営委員会委員長（梶原睦也君）**

まず、鹿島の視察において、委員会の中でどのような議論が行われたのかということでありますけれども、もちろん、様々意見は出ました。まさに、ここに読んでいただければ分かると思いますけれども、会場がこういった本会議場じゃなくてやるということで、ここに書いているとおり、そういう意見が出た分を載せておりますので、読んでいただければいいと思います。

具体的には、今のやり方を踏襲するということで決定したところでありまして、特別委員会として、先ほどおっしゃったように、今後においては、こういった他自治体のいい事例等も研究しながら進めていくということで、今回それを取り入れるとか取り入れないということまでの委員会報告にはなっておりませんので、今後探っていくということは、そういう意味合いで捉えていただければいいと思います。どういうふうにするとかということまでは決めておりません。

あと、通年議会については、通年議会の導入のいきさつ、これは相当前の段階で通年議会を取り入れられておりましたので、今いらっしゃる事務局長、また議会の議員の皆様については、その導入の形態については分からないということで話がありました。ただ、あくまでも先ほど冒頭述べましたように、この通年議会を取り入れていいという自治法の改正等もあったので、そこら辺で取り入れているのだというふうな感想的なことは述べられました。

以上でございます。

**○議長（辻 浩一君）**

増田朝子議員。

**○11番（増田朝子君）**

鹿島市の視察については分かりました。

大東市と四條畷市の通年議会ですけれども、こちらは通年議会のメリットとして、通年議会だったら専決処分じゃなくてできるということですが、その一部には専決処分もできるとあるんですけれども、これまで通年議会をされていて専決処分をされたという事例はなかったんでしょうか、その点をお伺いしたいと思います。

**○議会運営委員会委員長（梶原睦也君）**

もちろん、地方自治法第180条については専決処分も認められているわけでありますので、それは通常をされております。

地方自治法第179条の1項については、その中身については、ここに記載していたと思うんですけど、議会で決定して、この分については専決処分をしてもいいというふうなことを会議規則か何かで決めてその分を省いたりとか、そこは柔軟に対応できるということでありましたので、そういう対応をされております。大東市のほうがそういう形でされておりました。だから、専決はされております、その議会で認めた分に関してということです。

**○議長（辻 浩一君）**

増田朝子議員。

**○11番（増田朝子君）**

最後ですけれども、こちらの委員会報告では、「今一度原点に立ち返り、今こそ議会基本条例で定めた議会改革を地道に進めていくことが、市民にとっての最大の利益になると考える」と結ばれていますが、議会運営委員会としては、通年議会を今後ずっと研究を進められていくということとか、あと視察も続けられるという、今後の方向性をお尋ねいたします。

**○議会運営委員会委員長（梶原睦也君）**

書いておりますように、嬉野市議会としては、大阪も、ほかのところの視察に伺った状況を聞いても、中身的には嬉野市議会はかなり充実した議会運営を行っていると自負しておりますけれども、これについては原点に返ってもう一度、この議会基本条例を定めた当時のそういった熱い思いで今後もやっていくということが大事だろうということで決めさせていただきました。ただ、通年議会そのものを否定するというものではございません。今後そういう通年議会のそういう熱が出てきた場合には、嬉野市議会でも取り組む可能性もあるでしょうし、それを否定するということは、通年議会を取り入れないとか取り入れるとかということも一切書いておりませんので、そういう形で今後そういう機運が高まってくればまた議論の余地もあるでしょうし。ただ、今の時点においては、先ほど言いましたように、原点に立ち返ってしっかり議会改革を進めていこうということで議会運営委員会として決定したということでございます。

以上です。

**○議長（辻 浩一君）**

ほかに質問ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質問なしと認めます。これで委員長報告の質疑を終わります。

お諮りいたします。本件につきましてはただいまの報告のとおり了承したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長

の諮問に関する事項につきましては報告のとおり了承することに決定をいたしました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会をいたします。

午前10時40分 散会